



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業) A(挨拶) S(清掃) MI(身だしなみ) N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282 Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430
Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp



燃えろ大中生！ 涙あってこそ 努力あってこそ 栄光という結果が輝く

校長 新井 敬二郎

「燃えろ清 男なら ここで一発清 かつ飛ばせよ かつ飛ばせよ ライトスタンドへ」かなり古いかもしれませんが、DeNA中畑清監督が巨人軍の選手だった頃の応援歌です。燃えていますか大中生！先生は燃えています。🔥明日から学校総合体育大会が始まります。3年生にとっては中学生生活最後の大会です。悔いなきように思いきって戦ってください。そして負けて泣くよりも、勝って泣いてください。また、1年生にとっては初めての大会です。先輩たちの活躍を目に焼き付けて、これからの活動に生かしてください。大事なことは、目標をしっかりと立てて行動することです。

さて、この間の朝会でイチロー選手と石川遼選手の小学校6年生の時の作文を紹介しました。二人は誰もが知る一流選手ですが、作文に次のような共通点がありました。①将来の自分に対して夢を持っていること。②夢に到達するための道筋がしっかり描かれていること。③目標には具体的な数字がたくさん出てくること。そして、イチロー選手は、「夢が実現したら、お世話になった方に招待券を配って応援してもらおう。」、石川選手は、「世界一強くて、世界一好かれる選手になりたい。」と周りの人への気配りや感謝の言葉が述べられていることです。やはり、一流の人から学ぶことはたくさんあります。

それでは、私から強いチームのつくり方を伝授しましょう。(他の学校には、秘密にしましょう) えっ、たったこれだけと思うかも知れませんが、そうなのです。もちろん練習するのは当たり前ですが…。これは、かつて私がソフトボールの顧問をしていた頃、強豪の中学や高校の顧問と語り合った中でどうすれば強いチームを作れるかでたどり着いた境地です。新聞でバレーボールの吉原知子さんが恩師への言葉として『私生活はプレーにつながると言われ続けた。反抗期だった私は、つながるわけないじゃん」と反発していた。しかし、何事にも大雑把な人には細かいミスが出るし、思いやりのない人にはサポート役の控え選手が付いてきてくれない。ロボットがバレーをやるわけではないのだ。今だからわかるが…』と語っていた。結局のところ当たり前のことが当たり前に行える**(凡事徹底)**生徒たちが育ったとき、そのチームは「強い、負けないチーム」になるのです。ウソだと思ったら試してみてください。今日からやってみて下さい。

強いチームのつくり方

- ① 人の話は、目と耳で聞くこと。
- ② あいさつは、自分から進んですること。
- ③ 「はい」という歯切れのいい元気な返事をする。
- ④ 靴を揃え、服装を整えること。
- ⑤ 人よりも早く動き、移動は走ること。
- ⑥ 毎日の清掃に進んで取り組み、責任を果たすこと。
- ⑦ 「私がやります」「やらせてください」と言えるようにする事。
- ⑧ 「ありがとうございました」「お願いします」と言える事。
- ⑨ 学校のルールを守る事。
- ⑩ 友達を大切にすること。